

+幸せを探すあなたへ

「戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが...」
21世紀のウイルス恐怖

21世紀以後の主要ウイルス疾患の被害

年	ウイルス名	被害者数
1918	スペイン風邪 (インフルエンザ)	5000万人
1957	アジア風邪 (H2N2)	100万人
1968	香港風邪 (H3N2)	80万人
2003	SARS (コロナウイルス)	700名余り
2003 以降	新型インフルエンザ (インフルエンザH1N1)	250名余り

パンデミック Pandemic がくる 1918年5千万人が死ぬようになったスペイン風邪(インフルエンザH1N1)、1957年と1968年180万人が死ぬようになった香港風邪(H2N2、H3N2)、2003年700人余りが死ぬようになったSARS(コロナウイルス)、1976年ザイール(コンゴ)で発生した、感染すれば無条件に一週間のうちに死んでしまうエボラウイルス、1981年アフリカから全世界で暴風のように広がっているエイズ(HIV)ウイルスなど、地球上に存在する4000種余りのウイルスの中で、人間と関連があるウイルスは500種余りだと言われています。細菌は単独で生存が可能ですが、ウイルスは他の生物(宿主)に寄生して生きなければならないので、変移が頻繁に起こって、そうするうちに治療薬の開発が難しく、細菌よりさらに危険だということです。まだ、新種のインフルエンザおよびAI(鳥類インフルエンザ)、エイズ、エボラなどは予防ワクチン開発がはるかに遅い状態だと言われています。国内外の感染専門家たちは、歴史的にインフルエンザの大流行に関する10~40年周期説を根拠にして、2008~2010年をパンデミック再到来時期だと見通しています。パンデミック(Pandemic)という言葉は、AIウイルスが人体内で「大変異」を起こして、全世界的に呼吸器伝染病を流行させる現象を意味することで、ギリシャ語に由来する「pan(すべての)+demic(人)」で知ることが出来るように、一度発生すれば全世界に広がって、かかったすべての人が死ぬという意味です。このよう

に、地球上に乱舞する絶え間ない苦しみの知らせに対して、聖書は簡単に警告しています。「また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません」(マタイの福音書24:6)しかし、こういう不幸な人生が、はたして人生の本質でしょうか。

聖書が明らかにした原因と結果と解答 聖書を見れば、本来の人間は永遠な幸せを味わいながら生きるように創造されたのですが、今日の人間の現実はそうではありません。この苦しみの中には、自分も知らないかくされた根本的な原因があります。神様と共にいた人間がサタンの誘惑を受けて、神様を離れた以後、滅ぼす者であるサタンに捕われて、その奴隷のようになって、目に見えない霊的問題とともに精神、肉体、家庭、子ども、来世の問題に苦しめられるようになりました。ところが、本当の問題であるサタンがもたらした問題を、人は解決できないというのが事実なのです。それで、神様は人間の苦しみを解決するためにキリストを送ってくださいました。キリストが来られて、人生を苦しみと破滅へ押しやるサタンのしわざを滅ぼされて、呪いと災いとを招いた罪から人間を解放して、苦しみの中でさまよう人生に神様に会える道を開いてくださいました。人間の苦しみのすべての原因を解決されたのです。キリストであるその方が、まさにイエス様です。それでもキリスト・イエスを信じる者は、すべての苦しみから自由を得るようになります。これ以上、苦しみがあなたに留まることはできません。ひょっとして人生の中で苦しみと問題が訪ねてくるとしても、主がみな担って、弱さと病気までも担ってくださると約束されました。その祝福の始まりが、イエス様が私の中に主人として入って来られることです。真の癒し、完全な癒しは、神様が私と永遠に共におられることです。

長老伝道企画時代 重職者の祈りの課題

配慮の力 チョン・オクピョ氏が書いた<勝つ習慣>という本を見るとこのような文章があります。「釜山サハ区の電子機器売り場のホ・ヨングン店員は、酒に酔った人が、一人で売り場の前で泣いたり、笑ったりしながら、でたらめに話している光景を見た。彼は近づいて大丈夫なのかと尋ねて、何か助けてあげることはないのか尋ねた。すると、その人は、娘の誕生日なのに、財布をタクシーに置いて降りたせいで、誕生日ケーキ一つ買うことができなくなったと訴えた。ホ・ヨングン店員は、売り場に入って MP3 一つをきれいに包んでその人に渡した。いざという時には、自分が弁償するつもりでした行動だ。それから3日後、その中年の紳士が高3の娘を連れて売り場を訪ねてきた。MP3の値段を払ったことはもちろん、入学を前にして娘にノートブック・コンピュータを買ったのだ。その人は、その後、上得意になって、ホ店員が勧める製品は、何も言わず購入する。売り場の最大の広報マンになって、会社の同僚やアパートの住民にまでうわさを流してくれたという」生きる方法、技能も重要だが、さらに重要なのは下の人、上の人、隣の人みんなと一緒にいける能力です。ここで最も重要な単語が配慮です。他の人の立場を配慮しない熱心は、あたかもドンキホーテのようです。他の人を配慮しない関心は干渉です。配慮には一つになることと、時刻表を見ることが出来る未来が入っています。配慮することを知っている人は、他の人と共に未来に大きい門を開ける人です。

Onenessのための重職者の祈りの課題 重職者は上下を詳しく見て配慮することを知っている人です。最初に、いつも未来の主演である次世代のことを考えながら進行される学業キャンプ、言語キャンプ、文化キャンプを通じて、人材を立てて後見人の役割をすることです。二つ目、多民族宣教の大きい畑を理解して、心に抱いて手助けしなければなりません。三つ目、次世代が夏の修練会を通して実際の体験と訓練ができるように、ホームステイ(Home stay)の祝福を味わわなければなりません。四つ目、重職者自らが地教会と地教会堂に対して祈らなければなりません。五つ目、情報と資料、訓練をつなげる大学、青年の秘書を助けて活用しながら助けるべきです。六つ目、地域を生かす地教会に対するキャンプ図表を描かなければなりません。七つ目、文化征服のために全体が共にする Tax 式の文化宣教費戦略を置いて祈らなければなりません。これが、重職者が共に祈らなければならぬ伝道運動の全体方向です。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもへの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、1ヨハネ 5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

救いの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝つためにイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、1ヨハネ 5:4)



神様の子どもへの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

この世で義人は ただおひとりだけです



地獄へ行く人、天国へ行く人 13世紀イタリアの作家ダンテが1308年から1321年まで書いた代表的な叙事詩である神曲(La Divina Commedia)には、地獄、煉獄、天国の姿が描かれています。神曲に描かれた地獄は、1地獄から9地獄まで描写されていて、罪を犯したとおり罰を受けるようになるのですが、最高の凶悪犯は9地獄で、そこにはイスカリオテのユダと、ジュリアス

シーザーを裏切って殺したブルータスとカッシウスがいました。それなら、地獄はだれが行く所でしょうか。地獄は罪が多い人が行く所ではなく、罪の問題を解決されていない人が行く所です。それなら、天国はだれが行くようになるのでしょうか。罪がない人ではなく、罪の問題を解決された人が行く所が天国です。何度も神様を信じなさいと言ったのに、信じないで、この世に生きながら悪魔の子どもの役割をしていた人は、結局、悪魔を閉じ込める故郷である地獄に行くようになります。天国は優秀な人が行く所ではなく、神様を信じる神様の子どもが、当然、行くようになる所です。

この世に義人はおひとりしかいません この世に義人はいません。この言葉は、何の意味でしょうか。創世記3章の事件、すなわち神様を離れて、サタンに捕われるようになった原罪問題に勝つ人はいないということです(ヨハネの福音書8:44)。偶像崇拜する罪に勝つ人は、絶対にないということです(出エジプト記20:3~4)。そして、生きていながら犯すようになる自分が犯す罪を解決する人もいないということです(エペソ人への手紙2:1)。これは、全部、サタンが人間を攻撃して滅ぼす道具になります。それで、神様が人間を救うためにアダムの子孫ではない、女の子孫でサタンの権威をたたき壊すキリストを送ることを約束されました。キリストが人間のからだを着て、この世に来られて十字架で死なれることで、すべての暗やみとサタンの戦略を完全に打ちこわして、復活されることを約束してくださいました(コリント人への手紙第一15:3~5)。その預言がそのまま成就しました。それで、神様はだれでもイエス・キリストを信じさえすれば、神様の恵みで(エペソ人への手紙2:8)神様の子どもになる養子の霊(ローマ人への手紙8:12~15)をくださって、死の原理から解放してください(ローマ人への手紙8:2)、永遠にほろびない祝福をくださいます(ローマ人への手紙8:31~39)。

契約的な情念が込められた祈りが必要な時です 今から祈りで神様が世界の基が置かれる前から備えられた祝福と力を味わうだけで良いのです。これは単純な祈りではありません。今、世の中には数多くの人々がイエス・キリストを知らずにさまよいながら滅びていっています。教会に通っている人々でさえも、聖書が話す福音を分からない未信者より、もっと大きい苦しみに会って非難されています。教会は紛争と争いで社会からばかにされる境遇になってしまいました。それは、決して聖書が話す教会の本質ではありません。福音をなくした教会、聖書の伝道をなくした教会、真の祈りの答えを分からないでさまようクリスチャンの姿、サタンの働きである霊的問題に陥って、苦しむ全世界の現場、それで、私たちは世界福音化のための1千万弟子の情念を抱いて祈るのです。モーセが80年の人生の契約的な情念を抱いて祈ったように、その答えが神様に向かった私たちの歌になるその日まで、この信仰の歩みを止めることはできません。神様の民は神様の御手にあります。だれも奪っていく者はいません。皆さんは最も大切な人々なのです。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

11日(月)

ヤコブの祈り(創32:23~32)

すべての問題を解決できる神様の主権が私の人生、私の現場、未来に影響を与える人生が神様を信じる人の人生です。ヤコブが回復した身分と権威を回復して、滅びる世の中に対する霊的事実を知って祈る時、答えを味わうようになります。

12日(火)

パウロ、勇気を出しなさい(使23:1~11)

イエス・キリストを主人としてお迎えすると、私の中に聖霊が共におられるという事実は、世の終わりの日まで続く神様の祝福です。また、神様の計画を知って人生を生きるのが、最高の祝福です。それなら、私たちを通して成就するローマはどこでしょうか。

13日(水)

正しい祈りが始まらなければなりません

(列王2:1~11)

正しい祈りは神様に何かを要求するのではなく、全てを捨てて、神様を見上げて神様に集中することです。この時、他の人が知らない真の幸せを味わうようになって、永遠に残る重要な生活と働きを味わうようになるのです。

14日(木)

伝道以前にするべき三つのこと(使19:21)

伝道の祝福を味わおうとするなら、伝道以前に自分の人生に神様の光が現れて神様に向かって集中(黙想)する、自分の人生キャンプを味わわなければなりません。この時、現場に証拠が現れて、自分の教会キャンプを通して、礼拝の祝福と力を得るようになります。

15日(金)

世の力と教会(創11:1~8)

神様の子どもが力を得られなければ、世の中で勝利できません。祈りは、自分自身の考えとレベルの限界を知って、神様の前に立つことです。その時、私自身の限界と世の力を越えて、世の文化を征服するようになります。これが祈りの力で、聖霊に満たされる働きです。

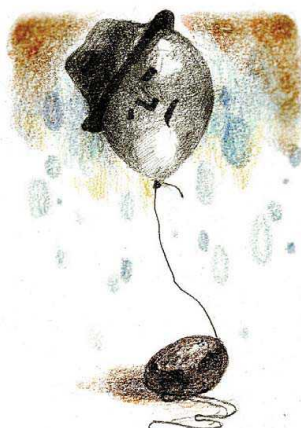
16日(土)

勉強する習慣(テモテ3:14~17)

祈りの力と祈りの奥義、祈りの習慣を持つのは全てをそろえることです。そして、次世代は、必ず読書、勉強、専門性、エリートになるための習慣を備えなければなりません。習慣が持続すれば体質になって、体質は人生と運命を左右するようになります。

週間メッセージ

聖日1部 モーセの歌(出15:1~18)
聖日2部 この世の義人はお一人だけです
(ローマ3:9~18)



イラスト_コン:スルギ

上げることができない石

人間の生活には、時代ごとにできごとが反復されて現れる。戦争と災いと飢饉とともに、台風と自然災害と病気などがそれだ。経済が難しい時代がくれば、生活の規律を見直すべきなのに、人々は新しい偶然の幸運を探して、宝くじをのぞき込んだり、心理が不安な人々は未来を見ようと占う所を行き来する。

私たちの町のチルボ山の裾にお祓いをする所がある。時々行ってみると、そのお祓いをする所が繁盛しているのが見られ、新しく部屋を増やして軒を格好良く飾って、人々がせわしく行き来するのが見られる。経済が難しいとしても、人間に近づいてくるいろいろな不幸を、何かの神の力で抜け出してみようとする意図が、宗教性で発見される。無神論者が見る時、宗教は麻薬と同じだが、宗教は人間が見つかることができる、一番適当な心の避難先だ。サタンの策略を避けるだけであればよいということだ。そのお祓いの場所を見ると、新しいものが登場していた。名付けて、上げることができない石というものだった。お祓いの場所の入口ぐらいに、子どもの頭ほどの一つの石が、公衆電話のブースほどあるガラスの部屋に出してあるが、お祓いをすべて終えた後に、その願いが成就したかどうか、試してみることができる石ということだ。

人々が解決できないと感じる問題を、悪霊の力を借りて解決してもらおうので、数十万円から何百万円のお祓いを(祭祀)をするのに、そこに注ぐ誠意が他の人は理解し難いほど、力が入っている。その程度の努力で問題が解決されるならば、それも惜しいことではないという考えで、苦しい人は、心とお金を一度に注ぐのだ。そのように、問題を解決するために一度のお祓いを終えた後に、その成就の有無を、だいたい、占いをすることによって見ることもある。しかし、出てくる時に見る、上げることができない石の価値は、そこではっきりとあらわれる。試す石は、苦しんでいる者が、祈祷師がするお祓いに受動的に従うのではなく、自分が持っている意志に従って、自分の力を自ら点検して確認して見る機会であるためだ。お祓いを終えた人が、その石の前にある賽銭箱にお金を入れて、石を持ち上げてみて、もしその願いが答えられたら、石が持ち上がらなくて、

答えられなかった石が持ち上がるということだ。石の重さは比重によって、それぞれ重さが違うことはあるが、その石は一般的な石なので、子どもでも簡単に持ち上げられる石に過ぎない。しかし、お祓いをし終えてくる人の心情で見ると、その石は持ち上げられない重い石にならざるをえないから、おもしろがってしてみるという意味でなく、人間が人生をサタンにだまされて、自分も現実にだまされ、お祓いでも自ら自分をだまし、それで自ら知っていながらも受ける苦しみの中に入って行くようにする。

サタンは、このように人生をわなの中に落とす。違った道であるのが明らかなのに、あまりにも自信ありげに人生の羅針盤を提示するので、大衆の中で道に迷った人生が、今日も自らだまされながら道を探してさ迷う。真理は単純だが明かだ。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイの福音書 11:28)は、イエスの招きで、その方がすべての問題の解決者であるキリストなので、可能になるのだ。自らだまされている人々がいるならば、だまされずに道であるキリストに出てこよう。文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください